

## 記入例2 障がい等の種類…肢体不自由

※赤字の箇所…記入例、青字の箇所…記入上の注意

令和元年6月10日

国立大学法人宮崎大学長 殿

### 相 談 申 請 書

国立大学法人宮崎大学(一般入試)を受験するに際して下記のとおり相談を申請します。

#### 記

- 相談者氏名 : 宮崎 太郎  
生年月日等 : 昭和(平成)14年 3月31日生 (男)女
- 志望学部・学科課程(コース・専攻)、日程等(一般入試で第2志望を実施している場合は、第1志望・第2志望が分かるよう記載してください。)  
農学部植物生産環境科学科 前期・後期  
※一般入試で第2志望を実施している場合は、第2志望を記入(有無も含めて)してください。
- 障がい等の種類・程度 ※医師の診断書等を参考に記入。種類は次頁参照  
種類: 肢体不自由(下肢)  
程度: 両下肢の麻痺による歩行障害のため車椅子を使用している  
※その他の種類としては、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱(呼吸器・心臓・腎臓疾患等)、発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群等)
- 受験上及び修学上の配慮を希望する事項 ※必要と思われる配慮を記入。措置の例は次頁参照  
○受験上  
①車椅子の使用 ②別室に試験室を設定(1階又はエレベーターが利用可能)  
③試験室を身障者用トイレ近くに設定 ④試験室までの付添者の同伴  
⑤試験場への乗用車での入校 ⑥特性机・椅子の持参使用  
○修学上  
①障害者用駐車場の使用許可 ②保健・体育等(実技)の配慮 ③特性机・椅子の持参使用
- 出身学校でとられていた配慮事項 ※出身学校にてとられていた措置内容を具体的に記入  
校内は身障者用トイレ、エレベーター、スロープを設置しており、日常的に使用している。授業中は特性机・椅子を使用しており、県教育委員会から生活支援員(※)を配置してもらっている。授業は教科書、板書は通常通りで特段の配慮はしていない。通学は生活支援員が送迎している。  
※役割は身体介護(特性机・椅子の移動、トイレ、食事等)の支援
- 日常生活の状況 ※日常生活の状況を具体的に記入  
移動は手動型車椅子で、段差がある場所では移動が難しい場合がある。手すりがあれば伝い歩きができ、トイレは障害者用トイレがあれば自力でできる。  
通学が困難なため、入寮を希望している。
- 住所及び連絡先の電話番号  
郵便番号 : 889-2192  
住 所 : 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1  
電話番号 : 0985-58-7138  
メールアドレス : nyushi-t@of.miyazaki-u.ac.jp

## 障がいの区分・程度・希望措置の例

| 相談例    |                                                                                                                                           | 措置の例                                                                                                                                                           |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①視覚障がい | 拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大文字問題冊子、解答用紙の配布</li> <li>・拡大鏡等の持参使用</li> <li>・窓側の明るい座席を指定</li> <li>・照明器具の持参使用</li> </ul>                              |
| ②聴覚障がい | 補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・注意事項等の文書による伝達</li> <li>・座席を前列に指定</li> <li>・補聴器又は人口内耳の装用</li> </ul>                                                     |
| ③肢体不自由 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの</li> <li>2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの</li> </ol>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代筆解答</li> <li>・介助者の配置</li> <li>・試験室を1階に設定</li> <li>・トイレに近い試験室で受験</li> <li>・車椅子、杖の持参使用</li> <li>・試験場への乗用車で入構</li> </ul> |
| ④病弱    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの</li> <li>2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験室を1階に設定</li> <li>・杖の持参使用</li> <li>・別室の設定</li> </ul>                                                                  |
| ⑤発達障がい | 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大文字問題冊子、解答用紙の配布</li> <li>・注意事項等の文書による伝達</li> <li>・別室の設定</li> <li>・トイレに近い試験室で受験</li> </ul>                             |
| ⑥その他   | ①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレに近い試験室で受験</li> <li>・座席を試験室の出入り口付近に指定</li> <li>・別室の設定</li> </ul>                                                     |